
友達ごっこ

葵

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

友達ごっこ

【Nコード】

N0601BA

【作者名】

葵

【あらすじ】

友達ごっこ。それが私の遊びの名。内容はその名の通り、友達のふりをする。ただ友達のふりをするのではない。相手が信じた瞬間に裏切り、相手を傷つける。だが、人を傷つけるのは私ではない。相手の周りにいる友達だ。そして、相手を孤立させる。私はこの遊びに罪悪感など感じない。感じるのは、満足感。ただそれだけ。

だが、私の世界を変える者が現れた。彼女の名は、桜宮皐月。3年前の私を知っており、私のことを「愛ちゃん」と呼ぶ女。

私はこいつをターゲットにすることにした。

ああはじめよう。友達じゃい。

登場人物

藤原 愛

この小説の主人公。3年前まではすごく明るくて優しく、クラスのリーダー的存在だった。

だが、今はその反対だ。人を傷つけることを楽しんでいる。学校では、3年前と同じく明るくて優しく、学級委員までやっている。だが、彼女はそれをゲームを楽しむためだと言う。

彼女は、彼女の通う星影高等学校で、復讐のために友達ごっこをしている。

桜宮 皐月

愛の通う、星影高等学校に転校してきた女の子。彼女は愛のことを「愛ちゃん」と呼ぶ唯一の人間。

彼女は愛のことを知っており、3年ぶりに再会したという。

そんな彼女が、愛の遊びのターゲットになってしまう!?

だが彼女はそんなこと関係なく、少しずつ、愛の世界を変えていく。

プロローグ

友達ごっこ。それが私の遊びの名。

私、藤原愛は、今日も楽しい遊びをしていた。

遊び方は簡単。その名の通り、友達のふりをして遊ぶ。ただ友達のふりをするのではない。ターゲットにした相手が私を信じた瞬間、相手を裏切る。そして、その相手を徹底的に傷つける。

その裏切られたときの顔が面白くて仕方がない。

傷つけるといっても、傷つけるのは私ではない。相手の周りにいる友達だ。そして相手を孤立させる。

私はこの遊びをし、復讐をするのだ。私を裏切り、傷つけたやつらに復讐し、見返してやるんだ。私はあいつらの思い通りにはならないことを証明してやる。

さあ、新たなゲームの始まりだ。

友達ごっこ

私は、藤原愛は今日もここ、星影高等学校で楽しい遊びをしている。

その遊びの名は、友達ごっこ。私はこの遊びに満足感を感じている。罪悪感？ そんなものは感じていない。なぜなら、私はこの遊びをし、ターゲットにした相手、ターゲットの周りにいる友達を救っているのだから。

友情なんて、壊れやすいものだ。信じたら、信じた分だけ傷つく。ならば、そんなもの作らないほうがいい。

「藤原さん、おはよう」

「うん。おはよう」

遊びをしているといっても、私が悪者だと思つ人などいないだろう。なぜなら、私が傷つけるといっても、私はそれをしかけるだけ。あとは全て、他の人間がやってくれる。まあ、私自身がやるときもあるが、その場合は転校させるぐらいにまで追い詰める。それか、私が転校するかのどちらかだ。私の家は仕事の都合で引っ越しをすることが多い。

だから、私の裏の顔を知っている者などいない。

「藤原さん、この問題わかる？」

「この問題は、ここをこうして解くと簡単だよ」

私の表の顔は、明るくて優しい優等生。この遊びを楽しむためには、いい子ちゃんのふりをするのが一番いい。

人間は単純だ。少し優しくしただけで仲良くなり、すぐに相手を信じる。私はそこを利用するのだ。まず、ターゲットにした相手、周りにいる友達のことを徹底的に調べ、その情報をもとに遊ぶ。

例えば、ターゲットをAさんとし、その友達をBさんとCさんとしよう。

この三人はどのように知り合ったのか、何年の付き合いなのかをもとに、どのような情報を与えればいいのかを推測する。

三人が小学校からの付き合いだしよう。友情とは、付き合いが長ければ長いほど壊れやすいものとなっている。それだけ長ければ、友情なんて簡単に壊れる。

だから私は、BさんとCさんにこう言うだろう。

『Aさんが、BさんとCさんの悪口を周りの子に言ってたよ』

そう二人に言えば、二人はAさんを恨むだろう。そうなれば、遊びは成功したも同然。私が二人に最後の言葉をかける。

『Aさんいじめちゃおうよ』

そのようなことを言えば、二人はAさんを傷つけ、Aさんは孤立する。そして、私はAさんの顔を見ながら楽しむ。

これが私の遊び。友達ごっこだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0601ba/>

友達ごっこ

2012年1月2日09時46分発行